＜プログラムのハイライト＞

●特別講演Ⅰ「放射性同位元素等規制法に関する最近の放射線規制の動向」

（10 月 22 日　11:00～12:00）

原子力規制庁より講師を招き，最新の放射線安全規制の動向について解説いただきます。質疑応答については，ご講演後，個別に対応いただく予定です。

●特別講演Ⅱ「震災直後における福島県教育委員会の放射線教育について」

（10 月 22 日　14:50～15:50）

2011 年の東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故は，福島県内の学校教育に対しても大きな影響を及ぼしました。放射線量が高く長期間の避難を求められた地域はもとより，多くの福島県内の学校現場で通常の学校運営が困難になりました。そのような中で，どのように放射線に関する科学的知見を持ちながら教育活動に当たって行くかが求められておりました。この度ご講演いただく阿部洋己氏は，福島県教育委員会の指導主事などを務められ，多くの困難に直面しながらも，さまざまな分野の方と交流し，福島県独自の放射線教育を一歩ずつ進めてこられました。子どもたちの将来を考えながら積み上げてきた放射線教育はどのようなものだったのか，そこに至る過程にはどのようなものがあったのか，15 年経った今だからこそ聞いてみたい，その経験を語っていただこうと思います。

●特別講演Ⅲ「海へ向き合う科学 ― ALPS 処理水をめぐる分析と生物研究」

（10 月 23 日　9:30～10:50）

特別講演Ⅲでは，「ALPS 処理水」を巡る 2 つの重要アプローチについてスポットを当てます。まず，日本原子力研究開発機構の田中康介氏より，第三者評価機関の立場から ALPS 処理水の精密分析にまつわる現状とその最新知見についてご講演いただきます。

後半は，2025 年 3 月まで実施された「ALPS 処理水を希釈した海水を用いた海洋生物飼育」の取り組みとその成果について，東京電力の柴田敏宏氏にご講演いただきます。あまり世間に知られていない現場での創意工夫や，実体験に基づく丁寧な情報発信の歩みについてご紹介いただきます。

●特別講演Ⅳ「福島第一原子力発電所事故後の放射線管理から学ぶ～昨今の危機災害対応のポイントとその限界点」

（10 月 23 日　11:00～12:00）

廃炉作業が行われている福島第一原子力発電所は，構内の 96%が一般作業服で入構可能となった現在も作業員の放射線リスクが比較的高いエリアが存在します。作業中には一定頻度の汚染が発生し，時には医療が必要とされる事案も発生しています。

翻って現代の放射性物質・核物質を巡る国際情勢は不確定要素が増大しているにも関わらず，エネルギー事情からは既存の原子力施設を最大限に利用するよう大きな方針転換がなされているため原子力・放射線災害のリスクは以前より上昇しているのが現状です。一方で，健康危機管理の視点からオールハザードを包括的に取り扱うように国の施策も転換されているように思います。

当日は，福島第一原発廃炉現場の医療事情を紹介すると共に，国際情勢や国の施策に間接的に影響を受けている状況を，地域の医療者の視点から福島県立医科大学の長谷川有史先生よりご講演いただきます。

●シンポジウム「不易と流行の間で電離放射線管理の原点と変革を共に考える」

（10 月 22 日　13:10～14:40）

このシンポジウムは企画専門委員会の企画として行います。RI 規制法の専門家である我々放射線取扱主任者には，RI 規制法の範囲外であっても，放射線に関わる様々な課題が持ち込まれます。その最たる

例が，電離則に基づくＸ線装置の管理でしょう。本シンポジウムでは，厚生労働省，日本非破壊検査工業会及び東京大学それぞれから専門家をお招きして，令和８年４月１日施行の電離則改正を踏まえたご講演をいただきます。電離則改正の背景や，利用者への特別教育を含む管理の実例などをご紹介いただき，また総合討論で議論することで，「不易（変えてはいけない本質）を守りつつ，流行（時代の変化にあわせた新しいもの）を柔軟に取り入れる」という観点から，エックス線装置の利用に関する理解を深める機会といたします。

●機器展示ショートテクニカルセッション

（10 月 22 日　15:50～16:40）

機器展示ショートテクニカルセッションでは，出展企業が放射線管理に関する取り組みや課題などについて，短時間で分かり易くご紹介します。本大会の新たな試みであり，限られた時間の中で効率的に情報収集ができると共に，日頃の放射線安全管理に直結するヒントや気づきを得ることができます。さらにセッション後の機器展示は，気になった内容をその場で確認し担当者と直接対話できる絶好の機会です。参加者・出展企業双方にとっての新たな発見や繋がりが生まれる場として，ぜひご活用ください。

●機器展示（中会議室 401，小会議室 402）

放射線関連サービス会社および製品メーカーによる機器展示を行います。各企業の最新技術やサービスを，実際の機器とともにご覧いただける貴重な機会です。ショートテクニカルセッションで紹介された内容について，担当者へ直接質問・相談できる場としてもご活用いただけます。参加者にとっては具体的な課題解決や情報収集の機会となり，出展企業にとっては現場ニーズの把握や新たな連携創出に繋がる，有意義な交流の場となります。お時間の許す限り是非お立ち寄りください。

10 月 22 日　　10：30～17：40

10 月 23 日　　9：10～12：00

●ポスター発表（中会議室 401，小会議室 402）

参加者の皆様より，放射線安全管理をキーワードとした内容についてポスター発表をしていただきます。全国の放射線施設の管理担当者，放射線取扱主任者，これから主任者を目指す学生の皆様の意見交換・情報共有の場となることを期待します。優秀ポスター表彰も予定しています。

ポスター掲示：10 月 22 日 12：00～10 月 23 日 12：00

ポスター発表時間：10 月 22 日 16：40～17：40

●相談コーナー（小会議室 403）

（10 月 22 日 15:50～17:40）

放射線管理業務における日頃の疑問や現場ならではのお困り事を気軽に共有してみませんか？

今年度は事前申込制ではなく，どなたでもフラッとお立ち寄りいただける形式としました。専門窓口に相談するほどではないけれど，少し意見を聞いてみたいといった気軽な情報交換も大歓迎です。

●交流会（ウェディングエルティ）

（10 月 22 日 18:10～20:10）

ウェディングエルティでの交流会を開催します。今回は福島県での開催ということで，福島の地酒やソフトドリンクを多数用意する予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。なお，交流会に参加希望の方は必ず事前登録を行っていただきますようお願いいたします。